

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)オークワ富田林旭ヶ丘店	階数	地上1F
建設地	大阪府富田林市旭ヶ丘町	構造	S造
用途地域	指定なし	平均居住人員	1,600 人
地域区分	6地域	年間使用時間	4,745 時間/年(想定値)
建物用途	物販店,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年11月 予定	評価の実施日	2024年3月1日
敷地面積	18,610 m ²	作成者	吉田修平
建築面積	5,090 m ²	確認日	2024年3月12日
延床面積	4,973 m ²	確認者	吉田修平



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.3 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

★☆☆☆☆

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.1

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.0

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.5

3 設計上の配慮事項

総合	その他
太陽光の設置を行い、省エネルギーに配慮している。 又、バリアフリーも適合しており、利用しやすい計画としている。	0
Q1 室内環境 建物内は全面禁煙としている。	Q2 サービス性能 売場天井高さを3.8mとしている。
Q3 室外環境(敷地内) 周辺環境に合わせて、景観色に配慮している。	
LR1 エネルギー 太陽光の設置を行い、省エネルギーに適合に適合している。	LR2 資源・マテリアル 節水器具やリサイクルについて配慮している。
LR3 敷地外環境 駐車場、駐輪場を多く確保し、利便性に配慮している。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

【建物概要】	建物名称	(仮称)オークワ富田林旭ヶ丘店					
	建設地	大阪府富田林市旭ヶ丘町					
	用途/区分	物販店					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					B+	
①	CO2削減					5	
②	みどり・ヒート アイランド対策					3	
③	建物の断熱性					3	
④	エネルギー削減					5	
⑤	自然エネルギー直接利用					—	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	○	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—

エネルギー消費量の報告

【評価項目】			
項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	5.0	5
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	3.0	3
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	2.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	3.2	3
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	5.0	5
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	—
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない

その他

	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項		